

第1期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画の策定に係る パブリックコメント結果

- (1) 案件名 第1期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画（案）
- (2) 募集期間 令和3年4月15日（木）から5月14日（金）まで
- (3) 意見提出者 26名
- (4) 意見の数 104件
- (5) 意見への対応内訳

対応区分	件数
計画に追加又は修正するもの（追加・修正）	27件
計画に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	12件
計画の実施段階で参考とするもの（参考）	19件
その他	46件
合計	104件

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
計画全般			
1	再編整備計画では何が優先され、地域の事情（通いの困難性など）はどの様に考慮されているのか。	その他	市立幼稚園・保育所の再編整備は、京田辺市の「めざすこども像」の実現に向けて、将来を担う子どもたちを健やかに育てていく上でハード・ソフト両面において望ましい就学前教育・保育環境を提供することを第一とし、安全・安心な施設環境の確保、一定の集団規模の確保、公立施設の機能強化を基本として取り組んでいきます。また、再編整備は、地域の日常的な生活圏内である小学校区を基本として進めることとしています。
2	整備計画（案）に反対する。	その他	
3	民間の施設を入れているが、実際公立幼稚園に通っている、もしくは今後通わせようと考えている親がいる中、計画は民意に反する行為である。	その他	将来を担う子どもたちを健やかに育てていく上でハード・ソフト両面において望ましい就学前教育・保育環境を提供するための計画となりますので、ご理解をいただきますようお願ひいたします。
4	今まで何もしてくれなかったのに、急に人数が・・・建物が・・・は絶対「なし！」です。	その他	
5	待機児童の解消については定員の弾力化等で進めてもらって、転入者についてもできうる範囲で融通して人口の維持増加を図ってもらいたい。	趣旨記載	P18に記載のとおり、民間小規模保育事業所の整備により、1・2歳児の保育定員を確保しながら市立保育所定員の適正化を進めるとともに、待機児童の発生防止を図ることとしています。
6	待機・保留の子どもをなくしてほしい。	趣旨記載	
7	行政が就学前教育・保育の分野でどこまで責任を感じ、子供の未来に希望を与える事が出来るのかなど、京田辺市全体の課題として捉え議論して戴きたい。	その他	就学前教育・保育のあり方等については、今後も「京田辺市子ども・子育て会議」等で議論してまいります。
8	市外の私立幼稚園に多くの京田辺の子どもが預けられている現状はどのように考えているのか。	その他	教育・保育ニーズが多様化する中、保護者は個々のニーズにあったサービスを提供する施設を選択されているものと考えますが、「京田辺の子どもは京田辺で育てる」ことを基本理念として就学前教育・保育環境の整備に努めます。
9	私立幼稚園とのサービスの違いをどのように考えるか。	その他	
10	新たに「こども庁」を新設する案が検討されているが、こども園の制度や実際の運営に混乱を来たす事は無いのか。	その他	現在、幼保連携型認定こども園は内閣府、幼稚園は文部科学省、保育所は厚生労働省がそれぞれ所管しているところです。国において議論されている「こども庁」は、このように複数の省庁にまたがっている子ども関連施策を一元化しようとするものであると承知しております。
11	公立はなくなるんだともっぱらウワサになっています。「京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画（案）」をリフォーム案へ変えて下さい。	その他	市立大住幼稚園を改築して幼保連携型認定こども園として整備することをはじめ、市立幼稚園8園・保育所4園1分園を、市立こども園3園・幼稚園4園・保育所2園に再編する計画であるので「再編整備計画」としているところです。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
12	幼保連携型認定こども園の導入が進められて3園ができるることは望ましいが、2期以降の計画はできるだけ早期に計画をしてほしい。	参考	今後の計画策定にあたって、ご意見を参考といたします。
13	新しい住宅はバンバン建てて、公立幼稚園は潰すのですか？子どもが集まる場所にこそお金をかけるべきです。	その他	本計画で整備することとしている「幼保連携型認定こども園」は幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設で、両者を一体的に運営することで幼児教育と保育の特長・効果をより高め合うものです。再編整備計画は公立幼稚園を潰すという趣旨のものではなく、「幼保連携型認定こども園」の整備を中心に、現在の幼稚園・保育所を再編しようとするものですので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
14	再編整備をきっかけに、各園所を保護者や保育士などのニーズに合ったものにしてほしい。例えばオムツは今持ち帰っていますが、保育所で処分してほしい。衛生的にも心配です。	その他	市政に対するご意見として承ります。
15	保育所・幼稚園の受け入れ人数や待機の人数をHPに明記して欲しい。何でも見えるように情報を開示してほしい。	その他	

3 京田辺市の就学前教育・保育を取り巻く現状と課題

16	園児の数が減っていることに関しては、子育て世代の流入により子供の数は増えている。	その他	幼稚園・保育所・こども園の対象年齢となる0～5歳の就学前児童数は、平成30年度以降減少が続いているおり、今後も減少が続くことが見込まれています。
----	--	-----	--

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
6 再編整備計画の基本的な考え方			
17	少人数であるから先生に一人一人を細かくみてもらえて対応してもらっていると思う。状況に合わせて保育をしてもらったり相談ができる環境があつたりと助けてもらっている部分がある。	趣旨記載	少人数保育ならではのメリットもあり市立幼稚園ではこれまで各学年単学級の比較的小規模な園においても幼児教育の実績を積み重ねてきたところです。そのため、3歳以上児の全学年が単学級であっても幼稚園運営は継続しますが、幼稚園や保育所は同年代の他の子どもと集団活動を行いながら社会性やコミュニケーション力を身に付ける集団教育の場であることから、P17に記載のとおり、3歳以上児の全学年が単学級であるだけでなく、連続する複数の学年で園児数が「10人未満」となった場合に、他園との統合を検討することとしています。
18	幼稚園があることは、幼児・保護者のみならず、地域にとっても豊かなつながりをつくる値打ちがあるので、単学級になっても引き続き開園して頂きたいです。	趣旨記載	
19	「学級数が複数」が望ましいとは、どこに記されているのでしょうか。	その他	多様な人間関係の構築や切磋琢磨して育つ幼児教育環境を確保する観点から、多くの自治体において複数学級が望ましいものとされているところです。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
7 再編整備方針			
20	薪小地区の保育ニーズを満たすには、薪幼稚園をこども園化することを優先するべきではないでしょうか。現在パンクしている保育所をこども園化するよりも、幼稚園をこども園化する方が有効ではないでしょうか。再編整備計画の順番が良くないと思います。	その他	本計画では、計画期間内に建築後50年を超える、かつ現在の新しい耐震基準を満たしていない園舎を有する市立幼稚園・保育所について対策を講じるとともに、園児数の減少により集団教育が困難となった園について原則他園との統合を行うこととしています。薪幼稚園は現状いずれの条件にも当てはまりませんので、こども園化等に関しては次期計画策定時に改めて検討します。なお、北部地域の市立大住幼稚園については、計画期間内に改築・こども園化する予定です。
21	老朽化・耐震問題に関しては速やかに対策を講じるべきであったし、建て替えについても仮園舎や移築も検討すべき。	その他	計画期間内に建築後50年を超える、かつ現在の新しい耐震基準を満たしていない園舎を有する市立幼稚園・保育所について、それぞれの実情に応じた対策を講じることとしています。また、大住幼稚園は仮設園舎を設置して改築を行うこととしています。
8 再編整備計画			
22	「子どもが歩いて行ける範囲に、放課後や休日利用できる施設が欲しい。」「中高生が利用できる施設が欲しい。」等の声を多く聞きます。	参考	統合整理された市立幼稚園・保育所の跡地に関しては、有効活用を図ることとしておりますが、ご意見も含めて全市的な観点から検討します。
23	建物を壊さないのであれば公園として遊べるようにしてほしいです。	参考	
24	東幼稚園の場所は公園として子供達が遊べるように残して欲しいです。	参考	
25	幼稚園・保育園の垣根を低くこども園にするのはとても良いと思います。親が働く、働かないに関係なく、就学前の子育ての選択肢が増えるとよいです。	趣旨記載	P19、P21、P22に記載のとおり、本計画の期間内に大住幼稚園、草内幼稚園及び河原保育所を幼保連携型認定こども園へ移行することとしています。
26	保護者も通園を通じて親子共々に、つながりが生まれていました。徒歩で通園できることが望ましいです。「こども園」でもその方向をめざしてほしいものです。	その他	本計画で整備することとしている市立幼保連携型認定こども園の幼稚園枠の子どもは、原則徒歩通園となります。
27	再編計画により小学校区をまたいで通園することもに関しては、「通園バスの導入検討」も計画に盛り込んでいただきたい。	その他	本計画による施設の再編は、現在市立幼稚園が設置されている小学校区を基本として行うため、園バスの運行は想定していません。
28	民間に委託して園バスの運行	その他	
29	体調や用事などで送り迎えが難しいことがあるので、バスのような送迎があると助かるなと思います。	その他	
30	東幼稚園の場所が変わった場合、幼稚園バスも運用していただきたいです。	その他	

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
31	送迎用駐車スペースの確保	その他	おおむね小学校区毎に設置している市立幼稚園は徒歩通園を原則としており、駐車場が確保できない園も多いことから自動車での登園は困難です。なお、市立こども園の整備にあたっては、主に保育所枠利用者を対象とした送迎用駐車場を確保します。
32	車での登園を可能にする。原則不可にしてしまうと入園希望者が減ってしまう。	その他	
33	校区で通える幼稚園が決まっているため、校区の端だと隣の幼稚園の方が断然近いにもかかわらず、遠い幼稚園に行かねばなりません。弾力的に近い園に行けるしくみを作つてほしい。	参考	市立幼稚園の休園・統合にあたっては保護者が他小学校区の市立幼稚園も選択できるよう検討することとしているところですが、計画の実施段階でご意見を参考といたします。

8 再編整備計画 (1)大住小学校区・桃園小学校区 ①大住幼稚園

34	大住こども園なら親子共に安心して通うことができると思います。	その他	令和5年4月の開園に向けて事業を進めます。
35	駐車場も広く隣に子育て支援センターがあるのもありがたいなと思いました。耐震も考えられており、安全性や防犯性も考えられていて安心して通うことができるのも素晴らしいです。	その他	なお、併設を予定していた地域子育て支援センターについては、松井山手駅周辺のテナントでその機能が確保できる見込みとなつたため一旦凍結することとしましたが、こども園において園庭開放や一時預かりなど地域の子育て家庭を支援する事業を実施します。
36	親が安心して笑顔でいられたら、子供達も笑顔で元気いっぱいに育っていってくれると思います。今回、こども園の計画を考えて頂き本当に感謝いたします。	その他	
37	パートなどの短時間勤務では保育園の入園は難しいので、こども園になることで働くお母さん達が増えるのが嬉しいです。延長保育・土曜保育が実施されれば、より働きやすいと思います。	その他	(仮称) 大住こども園では、延長保育・土曜保育を実施します。
38	給食もとても助かりますし、栄養バランスのとれた給食は親子共にメリットがあり、小学校給食にスムーズに移行できると思います。	その他	(仮称) 大住こども園では、自園調理による給食を実施します。
39	子供の急な病気で仕事を休まないといけない方も多いので、病児保育があると本当に安心して働けると思います。	その他	(仮称) 大住こども園では、看護師を配置し、園児が保育中に体調不良となつた場合における体調不良児対応型の病児保育を実施します。
40	障がいのある・なしに関わらず、補助や見守りが必要な子は多いと思うので、加配の先生も沢山いれば助かります。	その他	(仮称) 大住こども園をはじめとする市立幼稚園、保育所、認定こども園では、必要に応じて加配職員等を配置することによって、より良い保育環境の確保に努めます。
41	大住こども園の駐車場は定員から考えて相当混雑するものと予想する。通園に使われる隣接市道はやや狭めであるため十分な配慮も必要と考える。全ての子ども（小中学生含む）が安全に通園できるように、慎重に検討をいただきたい。	その他	施設規模の近い保育園における最大駐車数等から必要台数を計画しています。また、通学の安全を確保するため、送迎時間帯に交通誘導員を配置するなどの対策を講じます。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
8 再編整備計画 (2)松井ヶ丘小学校区 ①松井ヶ丘幼稚園			
42	幼児教育無償化に伴い園児数が減少しましたが「お得感」で私立の幼稚園に流れただけで、一時的なものではないでしょうか。園児数が10名を下回ったとしても、あと3~4年は様子を見ていたくことはできないでしょうか。松井ヶ丘幼稚園は、小学校もすぐ隣にあり、本当に良い環境だと思います。	追加・修正	ご意見を踏まえるとともに、松井ヶ丘幼稚園は現時点で集団教育が困難な状況とはなっていないことから現施設で幼稚園としての運営を継続しますが、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
43	松井ヶ丘幼稚園は少人数でアットホームで家族のような温かい園です。少人数の良さもあると思います。今の松井ヶ丘幼稚園で楽しく安心して通わせていただいております	追加・修正	<案修正> 【P19】 昭和54年に開園した松井ヶ丘幼稚園は、現施設で幼稚園としての運営を継続します。 なお、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
44	大住こども園に通うのは、距離が遠く大変であり、松井ヶ丘地域に根差した幼稚園の存続を希望します。	追加・修正	
45	松井ヶ丘幼稚園を大住こども園に統合する場合には、「市内全体の幼稚園ニーズへの過不足に対する十分な検討・検証を行う」などの記載を計画に盛り込んでいただくよう強く要望する。	追加・修正	
46	松井ヶ丘幼稚園を大住こども園に統合する場合には、「大住こども園の施設定員が、開園後のニーズに対し、今後も含めて十分な余裕があることの検証」などが実施されることを計画に盛り込んでいただくよう強く要望する。	追加・修正	
47	市立幼稚園は、特別な配慮が必要な子供への教育・保育にも重要な役割を担っている。「京田辺の子供は京田辺で健やかに育てていく」ためにも、松井ヶ丘幼稚園は現施設での運営の存続を要望する。	追加・修正	
48	現在3歳児が9人であるが、来年度の入園児が10人を下回った場合は即刻次年度の園児募集停止になるのか。	追加・修正	
49	保護者に対して説明会を開いてほしい。園児募集停止となるのであれば、下に兄弟がいる家庭はどのような対応になるのか気になっている。	追加・修正	
50	統合された場合、松井ヶ丘小学校区からの自動車通園が認められると考えていいが、大住こども園の駐車スペースの確保は十分であるか。	追加・修正	
51	統合により距離が遠くなれば送迎の負担が大きくなると考える。送迎手段が限られている親は厳しい部分もあるのではないか。	追加・修正	
52	車を所有しない家庭や運転できない家庭は、約2~3kmも離れた大住こども園通園をあきらめざるを得ないのでないのではないか。統合に際しては園バスの運行を条件とするべき。	追加・修正	

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
53	大住こども園の幼稚園枠で松井ヶ丘・大住・桃園小学校校区の幼稚園ニーズをカバーできるのか。園舎が新しくなる、また給食が開始されることで希望者が増えることは想定はされているのか。	追加・修正	ご意見を踏まえるとともに、松井ヶ丘幼稚園は現時点で集団教育が困難な状況とはなっていないことから現施設で幼稚園としての運営を継続しますが、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
54	大住こども園に統合された場合、松井ヶ丘小学校区の園児は通園に距離が出る。子どもと歩いて登園するのはとてもいい経験となったので、できれば徒步通園を継続したい。その観点でも、松井ヶ丘幼稚園の継続を強く希望する。	追加・修正	<案修正> 【P19】 昭和54年に開園した松井ヶ丘幼稚園は、現施設で幼稚園としての運営を継続します。 なお、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
55	大住こども園の定員確保の不安・立地の利便性を鑑み、松井ヶ丘幼稚園と大住こども園の統合案については、大住こども園開園後の園児数を見極めてから慎重に進めていただきたい。	追加・修正	
56	地域での噂も既に広まっていて、未就学児がいるお母さん達も「どうせなくなるから」と言っている話もよく聞きます。これでは来年度の入園児も減る一方ではないでしょうか。特に4月に入園したばかりの年少の保護者はこの先どうなるのかを感じているようです。敢えて少人数で職員全体で子ども達を見ててくれるからと選んだ保護者もいっぱいいます。色々な考えや決まりがあつての閉園・統合だとは思うのですが、納得のいく説明をして欲しいです。	追加・修正	
57	入園後に10名に満たない場合、合併のお話を聞きました。早急にそのような制限や計画を破棄して下さい。	追加・修正	
58	閉園の結論を出すタイミングが早過ぎると思います。園児一人一人の個性、好奇心を大切に、幼児期に必要な保育をしてください、本当に良い幼稚園だと思っています。幼稚園に入った時から、小学生のお兄さんお姉さんの遊ぶ姿を目にし、校庭に植物を見つけに行ったり、校庭でマラソンしたり、自然と子供達に「この学校に行くんだ」という気持ちが芽生える環境はとても貴重だと思います。	追加・修正	
59	早期教育を謳い、子供達に押しつけるような保育を行う園が多い中、大切にしなければならない幼稚園だと思っています。閉園を決める前にもう少し園児を増やす策をご検討いただけれと思います。	追加・修正	
60	今年度の入園児が10人未満でしたので、来年度も10人未満であれば統合の対象となると説明を受けました。しかしながら、来年度の募集は9月に願書提出です。園児数を増やす活動・取り組みの実行時間が無いまま判断するのは極めて時期尚早だと思います。せめて2年後の令和5年度に判断して頂きたいと強く望みます。	追加・修正	

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
61	幼稚園の雰囲気、先生方の子ども達に対する姿もとても良く、下の子も通わせたいと思っていますが、統合される可能性があると知りショックを受けています。	追加・修正	ご意見を踏まえるとともに、松井ヶ丘幼稚園は現時点で集団教育が困難な状況とはなっていないことから現施設で幼稚園としての運営を継続しますが、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
62	住んでいる地域の方に見守られながら、自分達が通う小学校を身近かに感じ、交流を持って通える、今の松井ヶ丘幼稚園にこれからも通わせていただきたいです。	追加・修正	<案修正> 【P19】 昭和54年に開園した松井ヶ丘幼稚園は、現施設で幼稚園としての運営を継続します。 なお、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
63	松井ヶ丘小学校との交流の取れる幼稚園は残すべきだと考えます。我が子が松井ヶ丘幼稚園に通っている時に、小学校との交流、連携（給食体験、先生や児童との交流、グラウンドの使用など）があったからこそ、小学校へのイメージが湧き、スムーズに馴染むことができました。これから下の子がお世話になりたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。	追加・修正	
64	小学校との連携による行事もあり、幼稚園からの次の小学生というもののイメージがつきやすかったり、小学生との触れ合いから学べることもあると思う。また、隣接しているため、通学路を前もって知れ登校する練習にもなる。	追加・修正	
65	松井ヶ丘幼稚園の運営が継続していれば、大住こども園分園として新たな機能を担うこともできるのではないか。こども園分園することで給食の提供もできないか検討していただきたい。	追加・修正	ご意見を踏まえるとともに、松井ヶ丘幼稚園は現時点で集団教育が困難な状況とはなっていないことから現施設で幼稚園としての運営を継続しますが、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。 なお、幼保連携型認定こども園の分園の規模は原則として30人未満とされているため、分園とした場合は3歳児以上の集団教育が困難になるものと想えます。
66	「松井ヶ丘幼稚園の現施設を、大住こども園の分園として存続させる」ことの検討を要望する。市道山手東上西野線の開通により、松井ヶ丘幼稚園と大住幼稚園の距離が近くなり密接な連携も可能と考えられる。	追加・修正	<案修正> 【P19】 昭和54年に開園した松井ヶ丘幼稚園は、現施設で幼稚園としての運営を継続します。 なお、計画期間中に園児数の減少により集団教育が困難となった場合は、就学前児童数の動向等も踏まえて今後の統合等を検討するものとします。
67	耐震不安があるのであれば、夏期休暇を利用し、早急にリフォーム整備を行って下さい。人数が少ない内、コロナ禍の内がチャンスです。	その他	松井ヶ丘幼稚園をはじめとする市立幼稚園の耐震補強等については、令和2年3月に策定した「京田辺市学校施設長寿命化計画」に基づき順次実施します。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
8 再編整備計画 (3)田辺小学校区 ①田辺幼稚園			
68	田辺幼稚園を休園するならば、早期に同じ場所でこども園に建て替える案が組めるのではないかでしょうか。小学校とこども園が隣接していることはメリットが大きいと思うので移転には反対です。	その他	田辺幼稚園は休園とする計画ですが、今後の就学前児童数の動向等を踏まえて、将来的な移転・こども園化を検討することとしています。現在の幼稚園用地の活用については、この点も含めて全市的な観点からの検討課題と考えています。
69	田辺小学校区では宅地開発は進んでおり、区内の人口は増加していくのではないかと思います。田辺幼稚園の改修が困難とのことですが、移転、小規模保育所化などもご検討いただきたく存じます。	趣旨記載	P20に記載のとおり、田辺幼稚園は休園し、今後の就学前児童数の動向を踏まえて将来的な移転・こども園化を検討することとしています。
70	田辺幼稚園は無くなるということでしょうか。田辺地域に根差した幼稚園は必要ではないでしょうか。できるだけ早く新設用地を確保し、田辺幼稚園の存続を希望します。	その他	田辺幼稚園は休園し、今後の就学前児童数の動向を踏まえて将来的な移転・こども園化を検討することとしています。なお、休園後に田辺小学校区内の幼稚園ニーズを受け入れることとしている聖愛幼稚園は、地域からの要望により開園した幼稚園です。
71	田辺幼稚園に入園した直後に幼稚園が休園する話を聞きました。2年後に下の子が入園するつもりで、このままでは別々の幼稚園に通うことになり現実的にとても不可能な状態です。	追加・修正	きょうだいが同時期に別々の幼稚園に通うことは望ましくありませんので、ご意見を踏まえ1年延期することとし、令和6年度から園児募集を停止し、令和8年度からの休園とします。 <案修正> 【P25 統合等にあたって】 ・ただし、休園する田辺幼稚園については、本計画策定時に在園している3歳児のきょうだいが同時在園できるよう、令和7年度末まで現施設で幼稚園としての運営を継続するものとします。
72	現3歳児の2歳違いの下の弟妹が入園できないのは困ります。2年後に兄弟姉妹で別の園に通わせなければなりません。2つの園を回って送迎するのはとても負担です。行事や役員が被る可能性もあります。 令和5年度から募集停止というのはあまりにも突然で説明不足です。せめて休園を計画より一年延期し、令和5年度の入園児も卒園できるように検討していただけませんか。	追加・修正	
73	現0歳の子も行かせる予定で、上の子を田辺幼稚園に入れることに決めました。0歳の子が卒園できる令和8年度までの存続を何卒ご検討よろしくお願ひいたします。	その他	田辺幼稚園は令和6年度から園児募集を停止し、令和8年度から休園としますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
74	案には聖愛幼稚園のこども園化を検討するとありました、聖愛幼稚園は私立であり、制服や副食費など無償化されたところ以外で公立よりもお金がかかります。1号認定児と2号認定児の帰宅時間が異なることによる集団形成への影響や保護者会の在り方などについて何も分からず不安になります。	その他	本計画において、聖愛幼稚園のこども園化は想定されていません。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
8 再編整備計画 (4)田辺東小学校区 ①河原保育所			
75	河原保育所が子ども園化しても、待機児童が解消されるような計画ではないと思います。民間小規模保育を新設しても、河原保育所分園の受け皿でしかなく、田辺東幼稚園の統合により幼児組の人数が増えることを考えると、河原保育所はパンクしたままではないでしょうか。保育ニーズの見込みについては、もっと厳しく見てほしいと思います。	その他	現在、河原保育所は施設定員（230人）を超えて園児を受け入れている状況ですが、市立幼稚園の認定子ども園化や民間小規模保育事業所の整備により特に需要の多い1・2歳児の保育定員を全市的に確保することによって、施設定員内の運営を図ります。なお、田辺東幼稚園を統合して、河原保育所を子ども園化する際に設定する幼稚園枠は当該施設定員内とします。また、分園の統合等の実施については、就学前児童数や保育ニーズの状況により柔軟に対応することとし、待機児童の発生防止に努めます。
76	分園の児童も本園と同じように行事があり、何かと不便があったかと思いますので、分園がなくなり本園のみになるのはメリットのほうが多いでしょう。ただ、分園をなくし、田辺東幼稚園の受け皿となって子ども園化した際に希望者全員の入所は不可能ではないかと不安に思います。	その他	
8 再編整備計画 (4)田辺東小学校区 ②田辺東幼稚園			
77	卒園記念品は、そのままの場所で外からでも見える場所に展示しておいてほしいです。移動するならば、河原保育所ではなく田辺東小学校へ移動してほしいです。	参考	計画の実施段階でご意見を参考といたします。
8 再編整備計画 (6)草内小学校区 ①草内幼稚園			
78	どこで給食をつくるのでしょうか？「子ども園」になった時点で園でつくった給食が提供されるということでしょうか。「食」は人の体と心をつくる大切なものです。特に乳幼児にはきめ細かな食の提供が求められます。「子ども園」では、園でつくった給食の提供が欠かせないものと考えます。京田辺市の保育所で取り組んでこられた「手作りの給食」の良さを「子ども園」でも引き継ぎ、発展させていただきたいと要望します。	その他	草内幼稚園の園舎には調理室がないことから、子ども園に移行する令和7年度から外部搬入方式による給食を実施することとしています。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
9 公立施設における就学前教育・保育の充実			
79	自治会等で行われる行事に参加し、0～2歳児の保護者に対する園児勧誘説明の機会を作る。	参考	市立幼稚園・こども園の園児募集を行うにあたって、ご意見を参考といたします。また、ご意見を踏まえ、「京田辺市立幼稚園・保育所等入園ガイドブック」を出生届提出時や乳幼児健診時に配布することとします。
80	継続的に園児数を確保できるように、1～2歳児親子に園へ足を運んでもらえる機会を作る。	参考	
81	お弁当が苦痛という声をきくが、実際どの様なお弁当を通園しているママさんが作っているかみる機会があれば、そんなにハードルが高くない事がわかるかも。	参考	
82	公立幼稚園の良さ（自然とふれ合う、のびのびとすごす等）、幼児期に本当に大切な事を知つてもらうための講演会や半日保育体験等を行う。	参考	
83	松井ヶ丘幼稚園に通っています。 先生方はとても親切で、子供たちを大切にしてくださっています。子供がこの幼稚園に通えて心から良かったと思っています。この思いをこれから幼稚園に通わせようと思っている人たちに伝えるすべがあればなと思います。	参考	
84	子どもたちに何かをさせるのではなく、子ども主体のとても良い園なので、その良さをもっと伝えていける場をつくる。	参考	
85	もう少し早い段階から、幼稚園の存在を知らせるようにできないでしょうか。出生届を持ってきたお父さんお母さんに幼稚園のパンフレットを渡し、幼稚園で年に数回でも0歳児からの親子教室を開く等・・・。	参考	
86	公立の幼稚園があることを乳児健診などでもっと知らせてもらえたらしいなと思いました。小学校との交流があることなども、もっとわかりやすくアピールしていただけると嬉しいです。	参考	
87	給食が週2回でもあれば、お弁当の負担が軽くなります。	参考	給食の導入は検討課題であると考えているところです。また、市立幼稚園では午前保育日や夏休みなど長期休業期間中も午後6時までの預かり保育を利用できるところですが、今後の市立幼稚園運営にあたってご意見を参考といたします。
88	市立幼稚園では給食がなく、3歳児では4月はずっと午前のみで入園式も遅く、お迎えが必要です。時短を活用しても働く親には難しいです。	参考	
89	計画に「看護師の配置を進めます」とあり、長年の要望が実現したとの声を聞いています。幼児教育における更なる「インクルーシブ教育」の充実を求めます。	趣旨記載	P29に記載のとおり、特別な配慮が必要な子どもへの対応などに取り組み、今後もインクルーシブ教育（障害のある者と障害のない者が共に教育を受けること）の充実に努めます。

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
90	京田辺市の幼児教育施策は、「各小学校に隣接して市立幼稚園を設置する。」という府下自治体の中でも先駆的なものでした。この伝統を今後の計画に活かしていただきたいと思います。	趣旨記載	再編整備は小学校区を基本として進めることとしており、P29に記載にとおり、市立幼稚園、保育所、認定こども園は、今後も小学校との連携をはじめ、これまで培ってきた京田辺市の就学前教育・保育の特色を継承発展させることとしています。
91	京田辺市では、おおむね市立幼稚園は各小学校に隣接しており、3年保育、預かり保育の充実も含めてとても良い教育がなされていると感じる。大きなアピール材料になるのではないか。	趣旨記載	
92	幼稚園は、小学校と隣接していたこともあり、園児のプール使用や運動会参加など小学校との交流ができていました。	趣旨記載	
93	統合の場合、各小学校への接続に配慮が必要になると考える。これまでと同等の接続プログラムを検討いただきたい。	趣旨記載	P29に記載のとおり、平成30年度に作成した市立小学校と幼稚園・保育所をはじめとする市内就学前施設共通の「幼小接続カリキュラム」等を通じて、就学前教育から小学校教育への円滑な接続を実践強化することとしています。
94	就学前児童数の減少傾向が続く中、市立園は民間園との競合が激化するにつれ、園児数の確保がより一層困難となってきて撤廃や統合が進むのではと危惧する。園児確保のため民間園に負けない教育カリキュラム（外国人講師による生の英会話遊び、自然と親しむ園外学習）を打ち出すことが必要と思う。	参考	市立幼稚園等においては、遊びを通じた学びや、地域とのつながりを深めながら「幼小接続カリキュラム」等を通じた小学校教育への円滑な接続などに取り組んでいるところですが、ご意見を参考に今後も幼児教育の質の向上等に努めます。
95	保育士の研修の機会の保障を望みます。	趣旨記載	P29に記載のとおり、市立幼稚園・保育所では、これまで各種研修機会の充実に努めてきたところですが、幼児教育センターとしての機能も担う拠点市立幼保連携型認定こども園において研修機会を提供するなど、研修等を通じて職員の資質向上を図ることとしています。
96	福祉というセーフティーネットが整備され、先生方が公務員として身分が保障され、経営ではなく保育に専念できる環境の継続を願ってやみません。	参考	市立幼稚園・保育所・認定こども園の教諭等は会計年度任用職員も含めて地方公務員として一定の身分保障があるところですが、ご意見を参考に今後も就業環境の充実に努めます。
97	国基準では、3歳児の1クラス定数は20人、4歳以上は30人となっています。他国の例では、イギリスは3歳児・4歳児ともに13人、ドイツ（ベルリン）は3歳児・4歳児共に9人で保育士が配置されています。横浜市の保育園では、3歳児15人、4歳児24人、京都市は、3歳児15人、4歳児20人の定数です。「こども園」となるなら、京田辺市独自の行き届いた少人数幼児教育・保育を願っています。	その他	市立幼稚園・保育所・認定こども園の職員配置基準は国の基準をベースとしますが、これまで同様に必要に応じて加配職員等を配置することによって、より良い保育環境の確保に努めます。
98	自治体独自の基準（3歳児15人）で行き届いた保育を行っている所もあります。京田辺市で少人数保育が実現できれば、嬉しい限りです。	その他	

No	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
99	正規雇用の保育士が少なくなり、残業や責任が多くなる中で、やめていく方もあると聞いています。「こども園」に再編されても、正規雇用を増やし、やりがいを感じて保育の仕事ができるよう充実した施策をお願いします。	その他	市立幼稚園・保育所・認定こども園全体の運営の中で必要な正規職員の採用に努めます。
100	長女の時はエアコン3年間なしで卒園しました。夏は顔が真っ赤で帰ってきました。子どもは、なにかのサンプル品ですか?エアコンをつけてもらおうと、当時の先生が毎日保育室の温度の記録をとっておられました。	その他	園児の良好な保育環境を確保するため、平成30年度に市立幼稚園の全保育室にエアコンを設置したところです。
101	手洗い場の石けんの容器は何年ものですか?コロナ禍なのに衛生面整えなさいって、どういうことですか。	その他	市立幼稚園・保育所の衛生備品については園からの要望に基づき順次更新していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため備品を購入する予算を別途確保しているところですので、ご意見を踏まえて対応します。
その他			
102	説明会の参加人数を見ても、周知が足りないと思います。概要をさらにまとめたものを保育所に通う全家庭に配布し、説明会の案内も配付すべきであると考えます。第2期以降では、周知の方法を改めてもらいたいです。	その他	パブリックコメントの実施にあたっては、広報ほっと京田辺4月1日号及び市ホームページに記事を掲載したほか、市立幼稚園・保育所や市内の主要な公共施設に資料を配置するなどしたところですが、次期計画の策定あたっても広くパブリックコメントの周知に努めます。
103	説明会について、担当者から話を聞けたのは熱意等を感じられるし、内容も理解しやすいので良かった。重要と思われるパブコメでは今後も継続して開催してほしい。また、広く意見を求めるためにもユーチューブ等の動画をアップしていただければ幸いです。	参考	今後のパブリックコメントの実施にあたって、ご意見を参考といたします。
104	こういった問題は都市計画等を踏まえ、市民の意見を尊重し、市民に寄りそな市政を行っていただきたい。	その他	市政に対するご意見として承ります。なお、本計画の策定にあたっては、市立幼稚園・保育所の保護者と市長による市民みらいミーティングを開催したほか、休園・統合の対象となる園の地元区・自治会との協議、説明会の開催など市民の方々のご意見を反映できるよう努めたところです。